

様式第2号

意見交換会実施報告書

| | | | |
|------|---|-------|------|
| 実施日時 | 令和6年7月2日（火） 午後6時30分～8時 | | |
| 実施場所 | 福原地区公民館2階 | | |
| 出席議員 | 大類 好彦 | 菅野 喜昭 | 和田 哲 |
| | 土屋 範晃 | 伊藤 浩 | 鈴木 清 |
| | 青野 隆一 | 安井 一義 | |
| 参加者数 | 男性 12人 女性 4人 計 16人 (団体等の名称 福原地区区長会・民生児童委員) | | |
| 実施概要 | <p>テーマ：1. 小中学校閉校後の利活用 2. 少子化問題 3. 市議会に対する要望事項 4. その他</p> | | |
| | <p>【1 主な質疑】</p> <p>Q1 行政調査などで廃校を活用している事例があれば紹介してください。</p> <p>A1 総務文教常任委員会が令和5年11月に実施した鳥取県八頭町のコミュニティ複合施設『隼Lab.』について説明しました。カフェやショップ、ワーキングスペースなど地域と一体となった活用事例です。</p> <p>Q2 地区から2件の請願を出し、議会では採択されたが、委員会では全会一致ではありませんでした。請願者自らが説明をすることができませんか。</p> <p>A2 尾花沢市議会基本条例第8条第2項は、『議会または委員会は、必要に応じて紹介議員からの請願趣旨の聴取及び請願提出者の趣旨説明の機会を設けることができます。』としています。今後、付託を受けた委員会において検討させていただきます。</p> <p>Q3 議会だよりの一般質問について、まとめることだけでなく、議員と市長のやり取りがわかるような記事にしていきたい。</p> <p>A3 スペースの関係もありますが、今後そのような記事についても掲載できるよう工夫していきたい。</p> | | |

【2 主なご意見・ご要望等】

○小中学校閉校後の利活用について

- ・福原中学校は新しく、建設費の償還が残っている。
- ・子どもが少なく、高齢者が多くなる。昼の部屋があれば、一緒に遊ぶことができる。
- ・学校がなくなると集まる場所がなくなる。高齢者しかいなくなるので、みんなが集まれるカフェがあるといい。
- ・地区公民館の移設やコミュニティセンター化する。大石田町のような高齢者福祉施設にしていきたい。
- ・地区の住民だけで利用するだけでは広すぎる。福原工業団地の企業の活用ができないか。
- ・地区の避難所にもなっている集落公民館の雪が隣の民家に行くため苦労している。屋根融雪は補助の対象にならないため、小学校への移設も必要と考える。ただし、雨の音や寒さ、トイレの改修などが整っていないなどの課題がある。
- ・地方創生アドバイザーや企業振興室などが企画し特化した事業を先行する必要があるのではないか。
- ・起業したい人を募集してはどうか。

○その他

- ・『道の駅』が一時避難所となっているが、使いづらい感じがする。管理者との連絡が必要なことから最終避難所は福原中学校となっているが、集落公民館などの近い所がよいという思いがある。
- ・名木沢生涯スポーツ交流センターは避難所としても整備されており、高齢者も子どもたちも利用している。

【3 今後の取り組み】

- ①意見交換会の内容は、意見交換会終了後、広報広聴委員会で取りまとめ、議長に文書で報告します。
- ②市政に対する要望・提言等で重要なものは、議長が取りまとめ、市長に文書で提出します。
- ③報告書は市議会ホームページに掲載するほか、参加者に配布するとともに、概要を議会だより等で公表します。